

健全財政5カ年計画の達成状況

()は前年度の数値

■**経常収支比率**…100%に近づくほど市が自由に使える財源が乏しくなるとされる数値

計画値	実績値	達成状況
85.7% (85.8%)	78.7% (81.0%)	達成

■**市税等収納率(現年分)**…課せられた税金が、実際に納付された割合

計画値	実績値	達成状況
96.34% (96.31%)	97.47% (97.44%)	達成

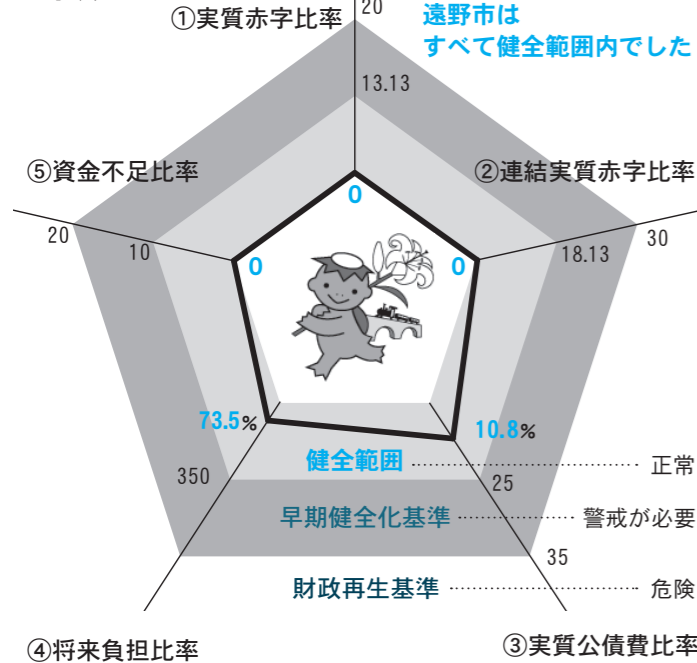
■**貯蓄の状況**(財政調整基金、市債管理基金、公共施設等整備基金の合計額)

計画額	決算額	達成状況
33億100万円 (23億4,900万円)	38億9,820万円 (33億3,656万円)	達成

■**借金の状況**

区分	計画額	決算額	達成状況
借入額	23億6,200万円 (25億7,300万円)	19億3,490万円 (33億260万円)	達成
市債残高	238億9,400万円 (228億1,500万円)	209億9,881万円 (210億3,704万円)	達成

健全化判断比率の状況



これらの詳細を表した「歳入歳出決算書」、「主要な施策の成果説明書」、「健全化判断指標」などは市のホームページで公開しているほか、市経営企画部でも閲覧できます。

用語解説

収入関係

▶繰入金/基金などから繰り入れて行政サービスの経費などに充てる財源▶地方交付税/一定の行政サービス水準を維持するために国から配分されるお金▶国庫・県支出金/特定の事業を行う際にその経費の財源として国や県から交付されるお金

支出関係

▶総務費/市役所庁舎などの管理、税金の徴収

などに使うお金▶民生費/社会福祉や高齢者、障がい者など一定水準の生活を保障するためのお金▶衛生費/ごみ、し尿処理など、生活環境を保持するためのお金▶商工費/商工業や観光を促進するために使うお金▶土木費/道路や公園などの整備や補修などに使うお金▶消防費/消防や防災活動などに使うお金▶教育費/幼稚園、小・中学校、生涯学習などに使うお金▶公債費/市の借金(市債)返済などに使うお金

平成25年度

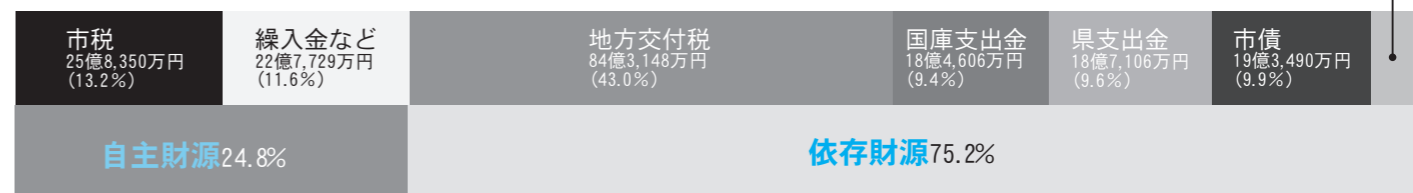
決算報告

平成25年度の決算が、9月遠野市議会定例会で認定されました。決算概要から見た財政状況についてお知らせします

■問い合わせ 市経営企画部(☎62-2111内線140)

★一般会計目的別決算状況★

歳入 195億9,200万円



歳出 186億7,031万円



※各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしています

●**子育て支援と教育文化を充実強化**
平成25年度の一般会計の決算は、歳入総額195億9,200万円、歳出総額186億7,031万円、予算額217億4,859万円に対する歳出の執行率は85.8%となりました。
歳入は、市が独自に確保できる自主財源の割合が全体の24.8%であるのに対し、国や県から配分されるお金(地方交付税や国庫支出金などの依存財源の割合は75.2%であり、依然として国の動向に左右されやすい財政体質となっています。
歳出の内訳は民生費が最も多く全体の24.5%で、「子育てするなら遠野」を合言葉に、保育サービスなどに利用できる「わらすっこ応援券」を交付するなど、子育て支援の充実に取り組みました。教育費は11.7%で、学力向上対策に取り組んだほか、平成28年度開催の「希望郷いわて国体」に向けた少年サッカー会場整備などを実施しました。また、農林水産業費が10.7%で、肉用牛の共同育成施設「キャトルセンタ」整備などを進めてきました。

●**財政の健全度を示す5つの指標**
地方公共団体は毎年度、実質的な赤字や他団体を含めた実質的な将来負担などを表す指標(健全化判断比率)と、公営企業などの資金不足額を表す指標(資金不足比率)を議会に報告し、公表しています。

平成25年度決算に基づく本市の健全化判断比率と資金不足比率はいずれも早期健全化基準などを下回り、財政状況は健全段階でした。また、市の貯蓄に当たる「主要三基金」の合計額は、前年度に比べ5億6,164万円増の38億9,820万円。市の借入に当たる「市債」残高は382,200万円減の209億9,881万円になりました。

①**実質赤字比率**
財政規模に対して、普通会計(一般会計とケーブルテレビ事業特別会計を合わせたもの)の赤字額の割合を示した数値。黒字の場合は「0%」。本市は「0%」でした。

②**連結実質赤字比率**
財政規模に対して、市の持つ全ての会計の赤字額の割合を示した数値。黒字の場合は「0%」。本市は「0%」でした。

③**実質公債費比率**
財政規模に対して、借金の返済や負担を約束した経費に充てる財源が、どのくらいの割合を占めているのかを示した数値。数値が低ければ良いこととなります。本市は前年比1.2ポイント

た数値。黒字の場合は「0%」。本市は「0%」でした。

④**将来負担比率**
財政規模に対して、借金の返済や負担を約束した総額が、どのくらいの割合かを示した数値。数値が低ければ良いこととなります。本市は前年比23.2ポイント減の「73.5%」でした。

⑤**資金不足比率**
農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計の事業規模に対する資金不足額の割合を示した数値。資金が不足していない場合は「0%」。本市は「0%」でした。

各会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	195億9,200万円	186億7,031万円	9億2,169万円
特別会計	86億3,973万円	84億2,486万円	2億1,487万円
国民健康保険(事業分)	36億7,769万円	35億6,079万円	1億1,690万円
国民健康保険(直営診療施設分)	1億7,468万円	1億6,284万円	1,184万円
後期高齢者医療	2億9,116万円	2億9,039万円	77万円
介護保険(保険事業分)	30億1,163万円	29億5,920万円	5,243万円
介護保険(介護サービス事業分)	1,512万円	1,477万円	35万円
ケーブルテレビ事業	5億4,893万円	5億3,707万円	1,186万円
農業集落排水事業	7,605万円	7,490万円	115万円
下水道事業	8億4,447万円	8億2,491万円	1,956万円
合計	282億3,173万円	270億9,517万円	11億3,656万円

※各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしています

水道事業会計決算

区分	金額
収益的収入(水道料金などの収益)	7億3,289万円
収益的支出(減価償却費など)	5億9,698万円
資本的収入(国などからの借入金、工事負担金)	2億7,488万円
資本的支出(工事費、借入金の返済)	5億1,576万円

※資本的収支の不足額2億4,087万円は、「過年度分損益勘定留保資金」などで補てんしました